



MEMS SENSING &
NETWORK SYSTEM

2024

開催報告書

Jtb Communication Design

MEMSセンシング&ネットワークシステム展 2024 開催概要

- **会 期**：2024年1月31日（水）～2月2日（金） 10:00～17:00
- **会 場**：東京ビッグサイト東5ホール
- **オンライン展示期間**：2023年12月1日（金）～2024年2月29日（木）
- **主 催**：一般財団法人マイクロマシンセンター／ 技術研究組合NMEMS技術研究機構／ 株式会社JTBCコミュニケーションデザイン
- **後 援**：経済産業省／文部科学省／国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）／ 独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）
- **協 賛**：一般社団法人日本機械工業連合会／一般社団法人日本ロボット工業会／一般社団法人日本分析機器工業会／ 一般社団法人日本ロボット学会／一般社団法人日本真空工業会／一般社団法人電子情報技術産業協会／ 一般社団法人次世代センサ協議会／一般財団法人光産業技術振興協会／一般財団法人機械システム振興協会



全来場参加者数合計
(オンライン参加含む)

52,351名

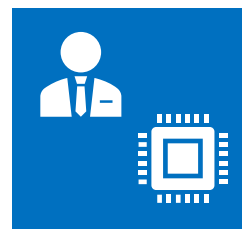
※同時開催15展合計



来場参加者数
(東京ビッグサイト開催)

42,034名

※同時開催15展合計



出展者数

37社・団体



出展小間数

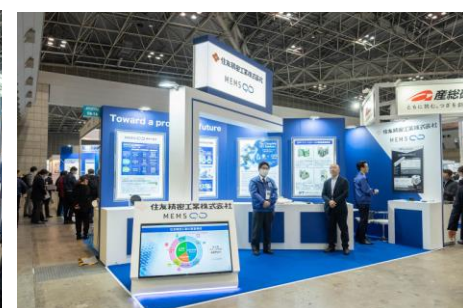
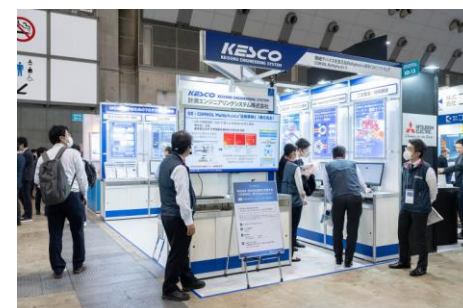
38小間

4㎡は0.5小間



■ 出展者一覧

五十音順	出展者名	小間番号
あ	秋田県産業技術センター	5B-06-02
	大阪産業技術研究所	5B-06-03
	大阪公立大学	
	オクメテック	5B-15
か	協同インターナショナル	5C-15
	Silex Microsystems	5D-13
	計測エンジニアリングシステム	5D-10
	コシブ精密	5D-10
さ	産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター	5E-15
	産業技術総合研究所 人間拡張研究センター	5D-15
	シチズンファインデバイス	5D-09
	シチズン時計	
	芝浦メカトロニクス	5A-04-08
	図研	5B-06-05
	住友精密工業	5B-16
	生体内サイバネティック・アバター	5A-04-04
	センシアテクノロジー	5A-04-06
	た	泰興物産
田口電機工業		5B-06-01
テクニスコ		5B-06-06
東邦化研		5C-13
東北大学マイクロシステム融合研究開発センター		5C-10
MEMSパークコンソーシアム		
東洋精密工業		5B-12
な	ナノシード	5B-06-07
は	BMF Japan	5B-09
	ポリテックジャパン	5D-07
ま	マイクロマシンセンター	5D-03
	三菱電機	5D-12
	ミネベアミツミ	5B-13
	ミライズテクノロジーズ	5E-06
	デンソー	
	メムス・コア	5B-10
	モスウェル	5D-06
	わ	和貴研究所
海外	Fraunhofer Institute for Electronic Nano Systems ENAS (ドイツ)	5L-03
	PolyK Technologies (USA)	5C-09



■ 会場風景



■ 主催者セミナー

■ 特別シンポジウム「MEMS・半導体次世代テクノロジーフォーラム」は展示会初日に開催。
次世代MEMS・半導体市場、最先端のMEMS・半導体技術が社会および産業に貢献するビジョンや方向性について、政策動向と最新情報が報告されました。

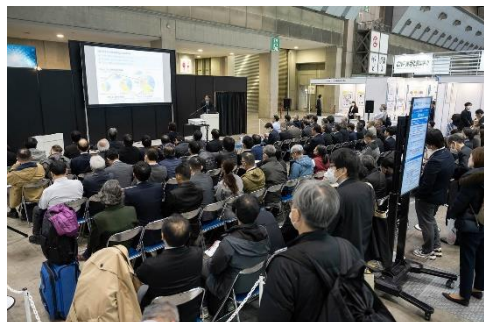
1/31 (水)
10:15-12:15

事前登録制 参加費無料 シーズ&ニーズセミナーC

特別シンポジウム「MEMS・半導体次世代テクノロジーフォーラム」

 <p>「半導体・デジタル産業戦略の現状と今後」 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課デバイス・半導体戦略室長 清水 英路 氏</p>	 <p>「産学連携MEMS研究:これまでとこれから」 東京大学 生産技術研究所 教授 年吉 洋 氏</p>
 <p>「モバイルの進化を可能にするRFフィルター技術」 スカイワークス・ソリューションズ株式会社 BAW/SAWフィルター開発総括副社長 アレクサンドレ・シラカワ 氏</p>	 <p>「産総研センシングシステム研究センターにおけるセンシング技術の半導体分野への展開」 産業技術総合研究所 九州センター所長 センシングシステム研究センター センター長 植村 聖 氏</p>

※清水様は急遽ご公務のため代わりに小林 健企画官よりご講演頂きました。



■ 主催者セミナー/ 出展者セミナー

■ 一般財団法人マイクロマシンセンター主催セミナーは会期2日目に展示会場内セミナー会場にて開催されました。各セミナーはほぼ満席で立見が出るほど活況、今回の講演テーマに対する関心の高さがうかがえました。

2/1 (木)
13:30-14:30

事前登録制 参加費無料 シーズ&ニーズセミナーC

TIA MEMSウィンターセミナー/MEMS講習会



「極薄MEMSハプティック素子による
リモート触覚伝達システムの開発」

産業技術総合研究所
センシングシステム研究センター
ハイブリッドセンシングデバイス
研究チーム長
竹井 裕介 氏



「指先の手触り感を見える化する技術-
シリコンMEMSナノ触覚センサ」

香川大学 創造工学部 教授
高尾 英邦 氏



2/1 (木)
14:45-15:45

事前登録制 参加費無料 シーズ&ニーズセミナーC

研究開発プロジェクト成果報告会/SSN研究会公開シンポジウム



「シリコンを基材に利用した
赤外光センサの展開」

電気通信大学大学院
情報理工学研究科 教授
菅 哲朗 氏



「血中成分モニターデバイスの研究開発
～タニタのビジョンと商品開発の方向性～」

タニタ 事業戦略本部 コア技術研究所 部長
髙谷 孝夫 氏

2/1 (木)
16:00-16:40

事前登録制 参加費無料 シーズ&ニーズセミナーC

MEMS協議会フォーラム



「我が国MEMS事業者の
動向に関する調査報告」

マイクロマシンセンター
専務理事
長谷川 英一 氏

出展者セミナー

事前登録不要 参加費無料
シーズ&ニーズセミナーA・C

■ シーズ&ニーズセミナーA

1/31 (水)
11:15-11:45

世界最高の精密水準を実現する
microArch® 3D プリンタシステム&MEMS 領域への応用、
フラッグシップモデルS230 のご紹介

BMF Japan
ビジネスマネジャー
田村 明男 氏

■ シーズ&ニーズセミナーA

2/1 (木)
12:00-12:30

電線近くで発電する磁界振動発電
-Society5.0実現に向けて注目される環境発電技術-

大阪産業技術研究所
電子・機械システム研究部 研究室長
村上 修一 氏

■ シーズ&ニーズセミナーA

2/1 (木)
12:45-13:15

MEMS設計システム「CR-8000 MEMS Designer」と
MEMS/パッケージ/PCB協調によるモジュール設計の革新

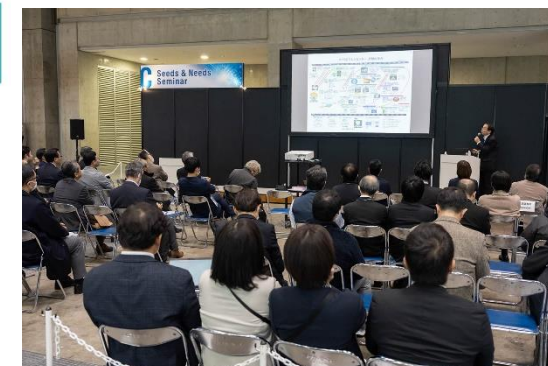
図研 技術本部 EL開発部 EL4セクション
シニアパートナー
小林 由一 氏

■ シーズ&ニーズセミナーC

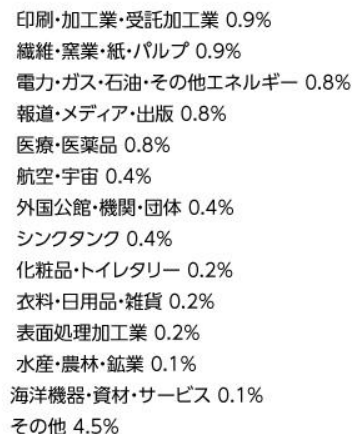
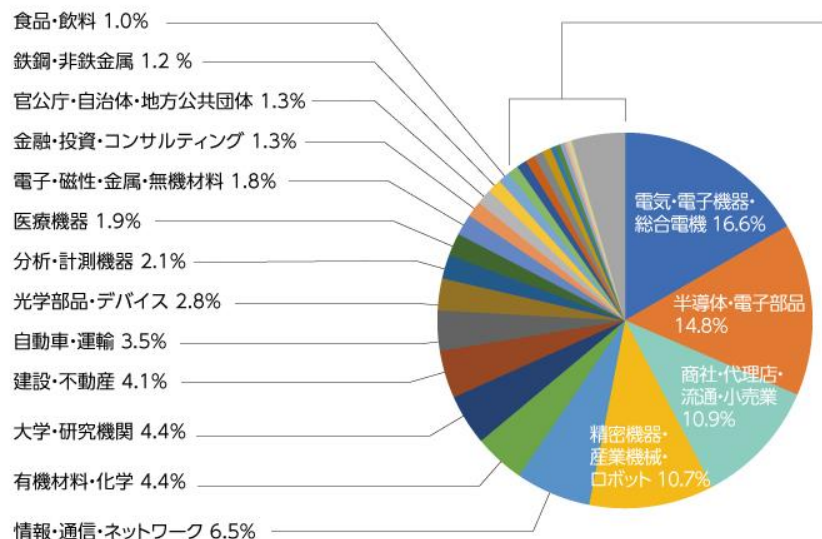
2/2 (金)
14:30-15:15

水晶振動子を用いた力センサ技術とその応用、展望

東京大学大学院工学系研究科
機械工学専攻
杉浦 広峻 氏
(計測エンジニアリングシステム)

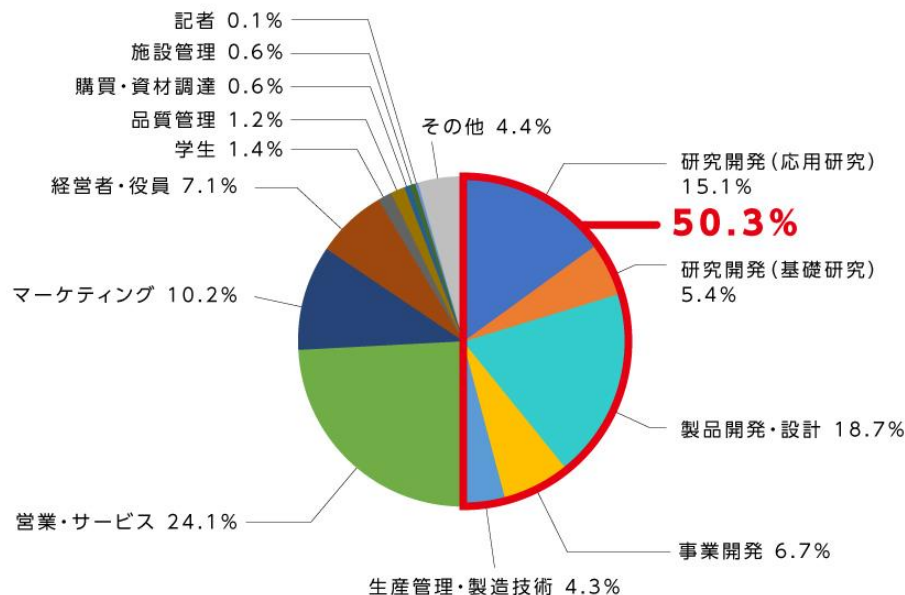


MEMS2024来場者業種・職種

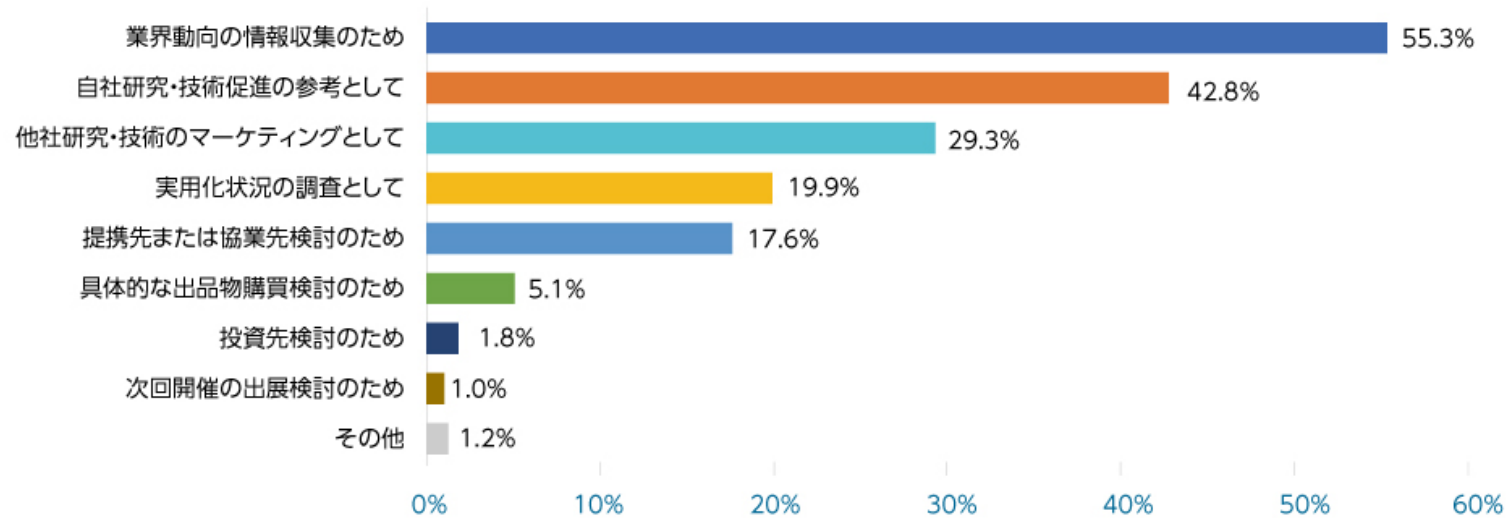


業種：
出展者のターゲットとする業種と
来場者業種が合致

職種：
研究開発、製品開発、事業開発担当の
来場者が約50%を占め、
専門性の高い商談が実現



MEMS2024来場者の来場目的



■ 来場者アンケートより：印象に残った出展者

ミネベアミツミ
シチズンファインデバイス
三菱電機
住友精密工業
ミライズテクノロジーズ
産業技術総合研究所
センシアテクノロジー
秋田県産業技術センター

■ 来場者アンケートより：興味を惹いた製品・技術

振動発電
圧電材料(ScAlN)技術
バッテリーレス給電方式
6軸力覚センサー
MEMSによる温度監視技術
MEMS技術を利用した熱分布測定
MEMS受託製造
USB2.0 で使える 耐候性のある安価なカメラ

■ 広報・プロモーション

■ 招待状配布

配布：**100,000**部
E-来場案内としても別途展開しました

■ メールマガジン

配信対象：**60,000**件以上



過去来場者・登録者を中心とした
弊社主催展示会データベース

■ 広告掲載

・電子デバイス産業新聞 2回

・11月30日号

・1月18日号

■ プレスリリース配信



関係省庁記者クラブへの
投げ込みも実施しました

■ 展示会におけるサステナビリティの取り組み

JTBコミュニケーションデザインは展示会主催・運営会社として、サステナブルな展示会の開催を推進しています。サステナビリティ方針、調達コード、運用方法など企画の段階から提案を行い、主催者である企業・団体のサステナビリティの実現に向けた積極的な取り組み支援を行っています。業界の従来型のエコシステムだけでなく、地域社会とも連携しながら、持続可能な社会の実現を目指します。

会場電力 イベントの電気もサステナブルに 「CO₂ゼロMICE®」を導入

*CO₂ゼロMICE®
MICEを実施する際に、その会場で使用される電気をCO₂が排出されない再生可能エネルギーに置き換えることができるサービス。






Green Power Certificate

グリーン電力証書

JTBコミュニケーションデザイン
CO₂ゼロMICE® 2024年2月開催展示会

株式会社JTBコミュニケーションデザイン 様
会場：東京ビッグサイト

シリアルナンバー：08P011-1803-1903-00164184A09~00238583A09
Serial Number



Green Power
Jtb Communication Design

この証書は、下記の通りに自然エネルギーによる発電が行われたことを証明します。
This certificate proves the following amount of power was generated from a renewable energy source.


グリーン電力相当量：74,400kWh
Amount of Green Energy: 74,400kWh

発電種別：太陽光発電（長野県 第二期南信州おひさま発電所）
Type of Power Plant: Solar Power (Second term Minamisinsu Hisama Power, Nagano)

発電期間：2018年3月～2019年3月
Power Generation Period: From March 2018 to March 2019

証書発行事業者：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
Certificate Issuer: JTB Communication Design, Inc.


認証機関：一般財団法人日本品質保証機構
Certification Organization: Japan Quality Assurance Organization



発行日： 2024年1月31日

御中

CO₂ゼロMICE®レポート



●ご利用者様

会社名	株式会社JTBコミュニケーションデザイン	
住所	〒 105-8335	東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12F

●グリーン電力証書発行内容

CO ₂ ゼロMICEご利用イベント名称	JTBコミュニケーションデザイン 2024年2月開催展示会	
発行量 (kWh) ※	74,400	
ご利用日	2024年1月31日	

※グリーン電力証書は100kWh単位での発行となります

●CO₂排出想定量

CO ₂ 排出想定量	32,801.14	kg・CO ₂
-----------------------	-----------	--------------------

●環境に与えるインパクト

使用した電力量が環境に与えるインパクトの目安は下記の通りです。
CO₂ゼロMICE®を利用することにより、下記のインパクトを軽減したことになります。

CO ₂ 排出量を吸収するために必要な杉の木	2328.9	本	※1年間で吸収
CO ₂ 量 (2Lのペットボトル)	8,200,285	本分の体積	
自動車での走行距離	118084.1	km走った時のCO ₂ 排出量	
東京駅-新大塚駅まで新幹線での往復	1257.6	往復	
羽田-大阪間の飛行機での移動	574.0	人分	

●SDG s の取り組み

7. 「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」
13. 「気候変動に具体的な対策を」

発行：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
事業共創部 ソーシャルビジネス局 ソーシャルビジネス課
CO₂ゼロMICE事務局

Jtb
Communication
Design

Jtb Communication Design

複写・重複利用厳禁

2025.1.29 Wed.~1.31 Fri. 10:00~17:00

東京ビッグサイト東ホール&会議棟

主催：一般財団法人マイクロマシンセンター
株式会社JTBCコミュニケーションデザイン

同時開催：全**14**展示会



MEMSセンシング&ネットワークシステム展事務局
株式会社JTBコミュニケーションデザイン

TEL : 03-5657-0768

FAX : 03-5657-0645

mems@jtbc.com.co.jp

<https://www.optojapan.jp/mems/ja/>